

三芳町 まちづくり懇話会

令和元年6月
三芳町

未来につなぐ ひとまちみどり 誇れる町

三芳町第5次総合計画



未来につなぐ
ひとまちみどり
誇れる町



三芳町第5次総合計画

平成28年度(2016)～平成35年度(2023)

2016⇒2023

三芳町は、現在平成28年度以降8年間を計画期間とする「第5次総合計画」に基づいてまちづくりを進めています。

令和元年度は、翌年度からの後期計画に向けて、4カ年の検証・見直し作業を実施します。



基本 構想

まちづくりの基本理念

1 協働のまちづくり

第4次総合振興計画で掲げた「協働のまちづくり」の理念は第5次総合計画でも引き継ぎ、さらなる深化を図ります。

財政制約を背景に公助の拡大が難しくなるなか、住民ニーズの多様化・高度化に即応する自助・共助の拡大を図ります。

2 持続可能なまちづくり

地球規模の環境資源制約、国内の財政制約や人口減少社会に対応して、人口や財政の規模をはじめとして身の丈にあった投資による成長や定常的な質的发展をめざします。社会経済財政面を含めて持続可能なまちづくりによって、三芳町のもつ良好な環境を確実に将来世代に継承することを重視していきます。

3 特性・資源を活かすまちづくり

「東京に一番近い町」「昼夜間人口比率が県内トップ」「平地林が支える三富新田の循環型農業」「自然災害が少ない町」など、三芳町の特性や資源を活かし、小さいながらもきらりと輝く独創的で 個性的なまちづくりをめざします。

重点 プロジェクト

サービスの拡大の限界

自治体経営力の向上

「選択と集中」に基づく政策

持続可能なまちづくり

住民がいつまでも
元気に活躍できる
健康長寿のまち
をめざします。

**2健康長寿
プロジェクト**

**3子育て支援
プロジェクト**

子どもをはぐ
くむ力のある地域
社会の実現をめざ
します。

重点
プロジェクト

**4緑の保全・活用
プロジェクト**

**5西の玄関口
プロジェクト**

「西の玄関口」
による
**戦略的な
まちづくり**
を展開します。

緑に恵まれた環境
を活かし、**自然**に
ふれあう空間づくり
を推進します。

【緊急重点プロジェクト】
1行財政基盤強化プロジェクト

財政基盤の強化を図り、持続可能な自治体経
営をめざします。

人口38,500人をめざします!

住民基本台帳人口
(令和元年5月末現在)



38,179人

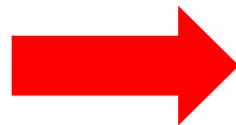
住民基本台帳ベース推計



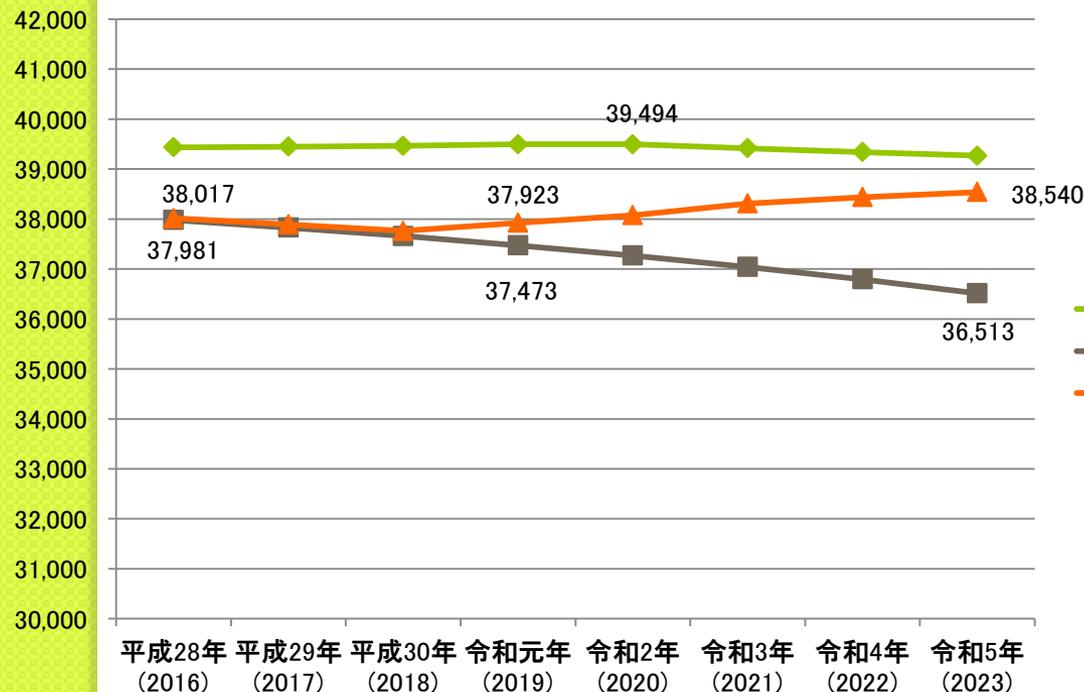
36,500人 (令和5年)

目標人口

(区画整理などの優良住宅の造成等により)



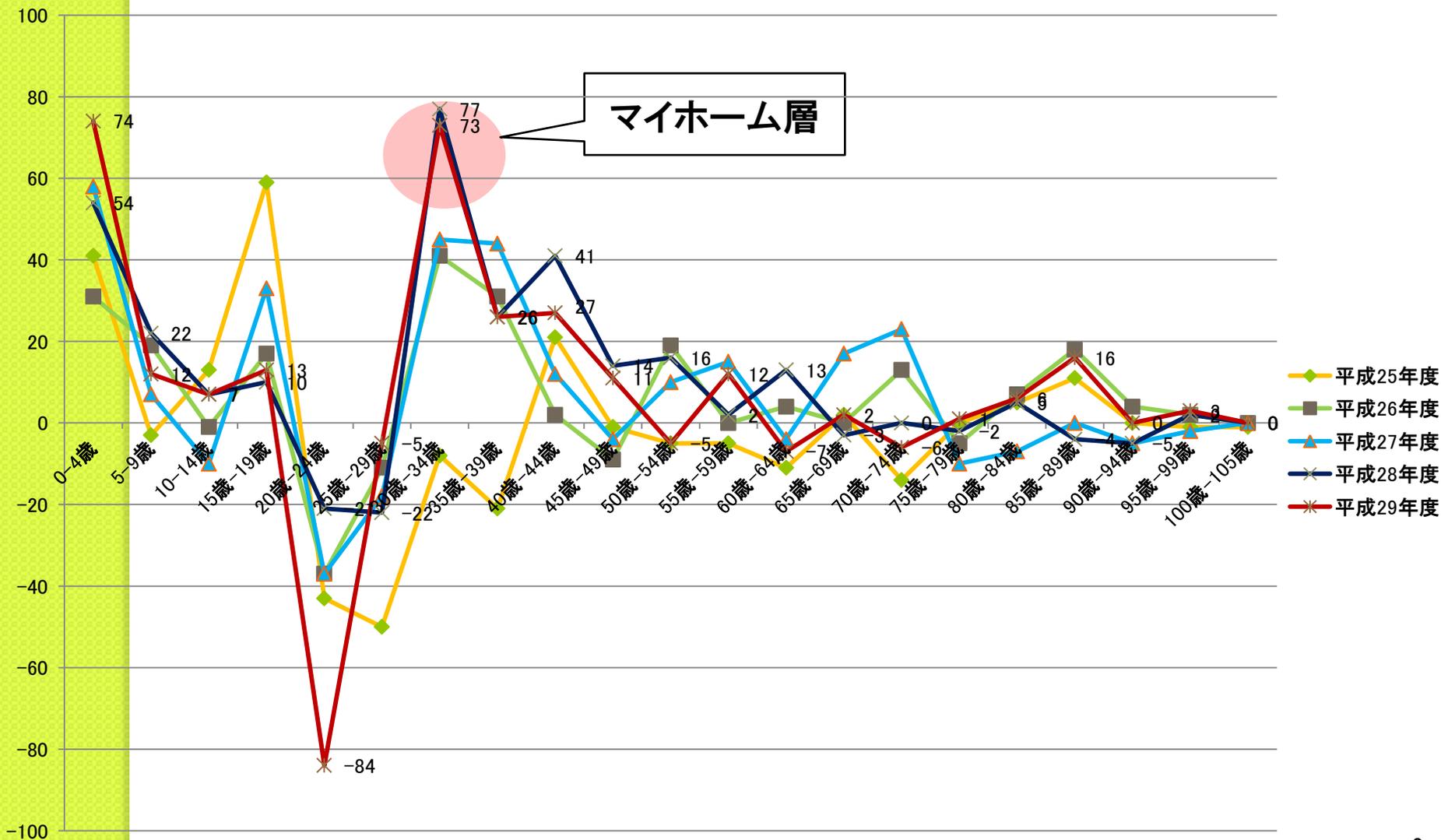
38,500人 (令和5年)



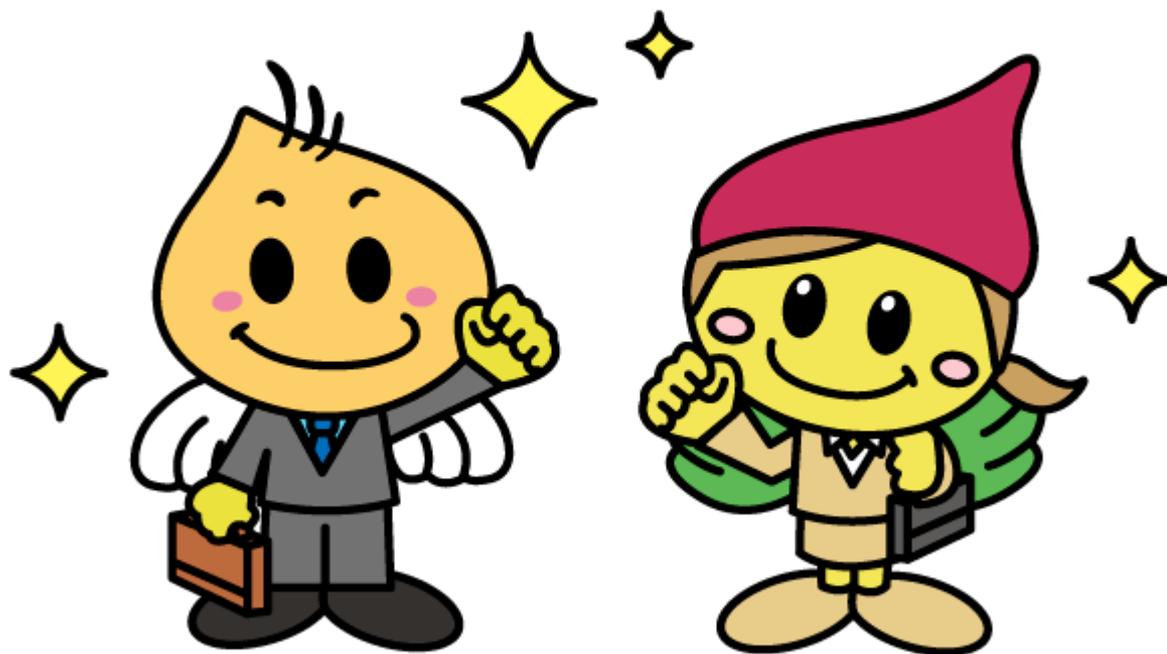
目標人口

人口移動の状況

年齢階級別の人口移動の状況を見ると、20代前半から後半にかけて、転出超過傾向にあり、30代から40代で転入超過傾向にある。



働きにくるまち MIYOSHI



昼夜間人口比率	県内第1位	117.2%
民間事業所数	県内町村第1位	1,683事業所
従業者数	県内町村第1位	27,411人

三芳町住民意識調査

■調査の目的

「三芳町住民意識調査」は、まちづくりの基本的な指針である『三芳町第5次総合計画』後期計画の策定に向けた基礎資料として、施策への住民満足度や地域課題の現況を把握するために実施するものである。

■調査方法：郵送法（郵送配布—郵送回収）

■調査対象者：三芳町に居住する16歳以上の男女2,000サンプル（住民基本台帳から無作為に抽出）

■有効回収数：1,104票（回収率：55.2%）

■調査実施日：平成30年9月13日～10月4日

調査項目

1 まちの住みやすさについて

2 地域内の様子について

3 町の現状についての満足度

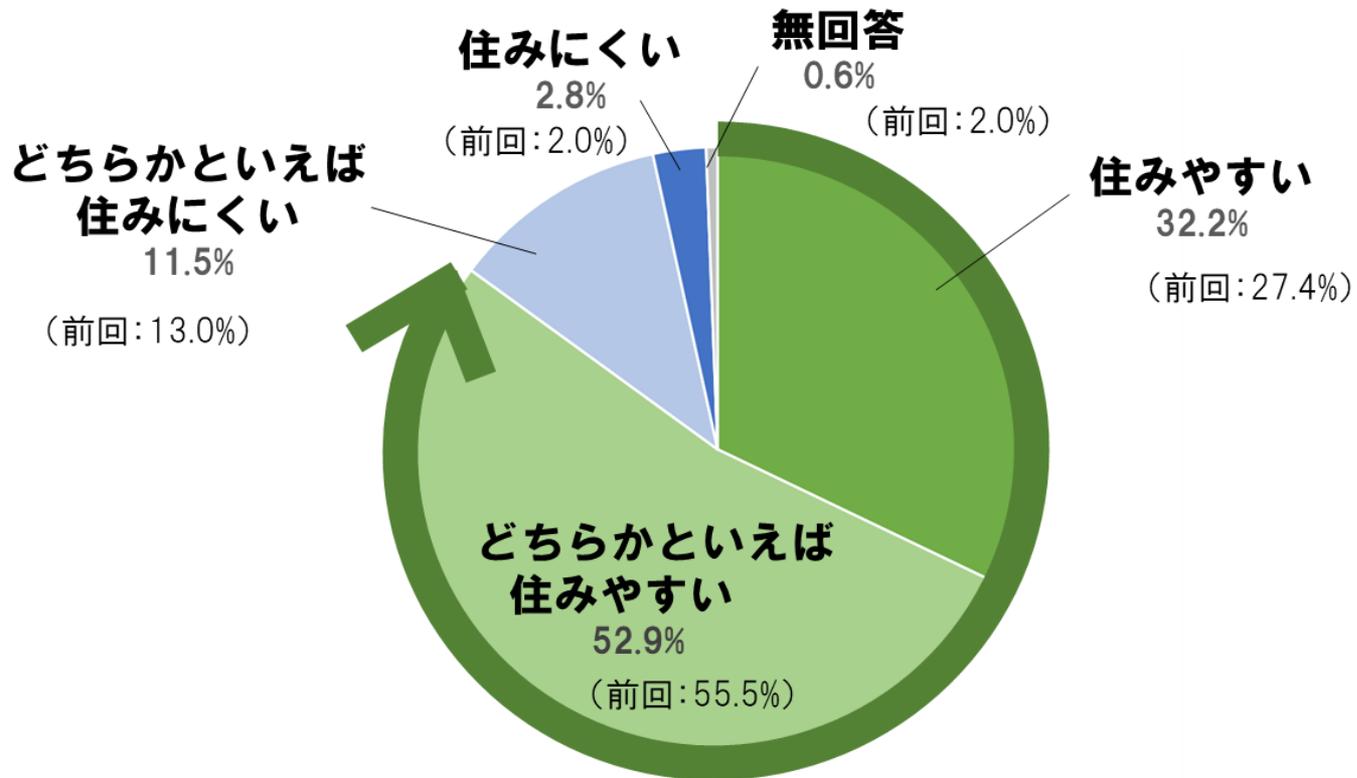
4 町政運営について

5 町の将来イメージ



三芳町の住みやすさ

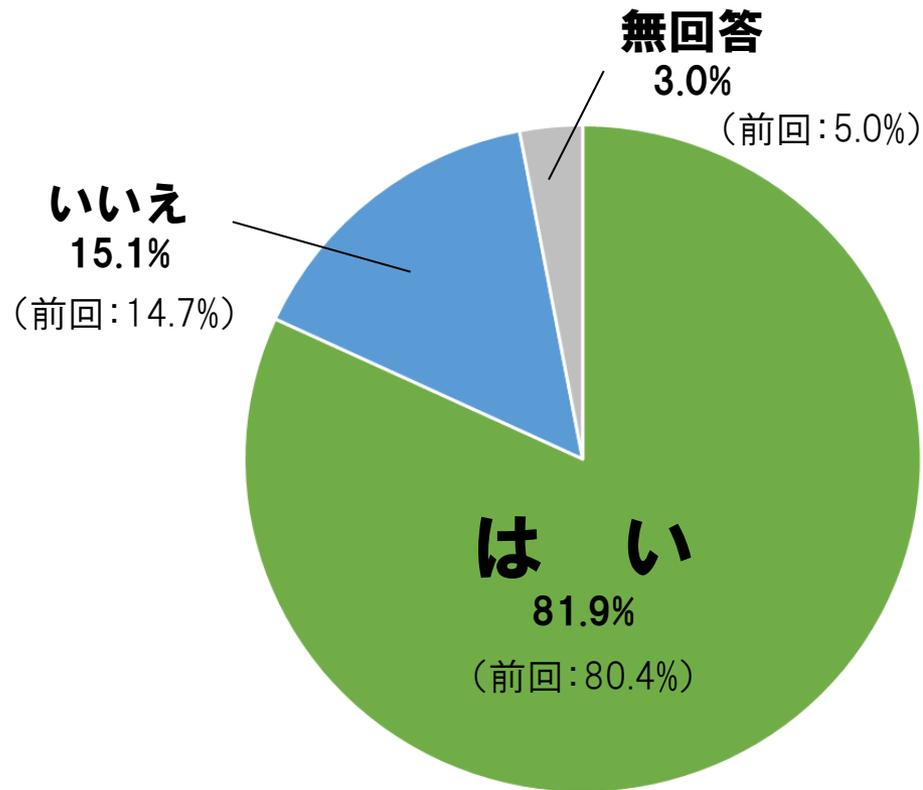
問. あなたは、現在の三芳町の住みやすさについてどのように感じていますか。
(n=1,104)



「住みやすい」が85.1%（前回：82.9%）

三芳町の定住意向

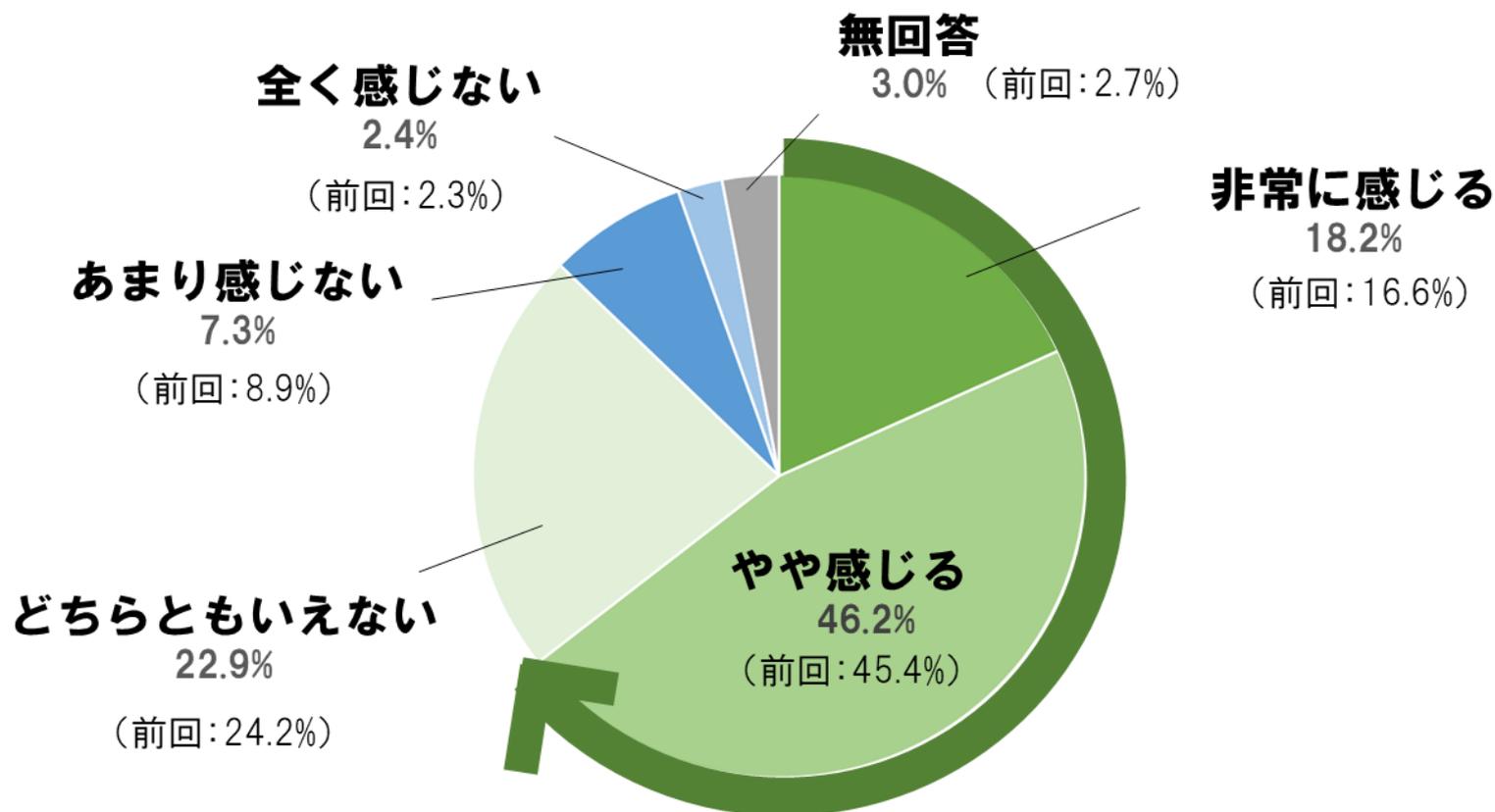
問. あなたは、これからも三芳町に住み続けたいと思いますか。
(n=1,104)



「住み続けたい」が81.9%（前回：80.4%）

三芳町に対する愛着

問. あなたは三芳町に愛着を感じていますか。 (n=1,104)



「愛着を感じる」が64.4% (前回: 62.0%)

三芳町の今後の町政全般に対する意見・提案

問. 三芳町の今後の町政全般に対してご意見、ご提案がありましたら、ご記入ください。

(n=1,104)

分野	回答	件数	分野	回答	件数	分野	回答	件数
環境	公園の整備	19	社会福祉	高齢者にやさしいまちづくり	14	行政改革	行政サービスの改善等	12
	自然を残してほしい、守ってほしい	12		高齢者・障がい者への就労支援	3		市町村合併すべき	10
	子どもが遊べる場所を作してほしい	9	文化・教育	子育てしやすい環境の整備・施策の充実	12		税金の使い方について	7
	土埃の対策をしてほしい	7		教育レベルの向上	6		議員・職員の人員適正化、給与体系の見直し	7
	治水対策	6		プールの設置	3		財源の確保	6
		ペットに関する環境整備	4	コミュニティ	自治会の運営		8	職員の意識改善、能力向上
都市整備	交通インフラの整備	101	人のつながりがほしい		5		町民の声を吸い上げる機会・場の提供	4
	適切な区画整理	1	まちのイメージ・アピールポイント	周辺地域・若者へのアピール	9		広報の充実・改善	2
	上下水道の整備	1		まちのアピールポイントがない	7	住みやすいまちづくり	住みやすいまちづくり	11
安全対策	道が暗い・街灯の設置を求める	9		まちのイメージアップ	5			
	横断歩道、信号機の設置	4		まちのイメージが悪い	2			
産業・商業・農業	商業施設の充実	7						
	農業への関心を高めたい	5						

三芳町のまちづくりの取組について

「まちづくりの方程式」

良い町は良い政策から

政策

より多くの人の
幸せのために対話を重ね

対話

人

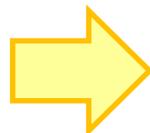
多くの住民の皆様が参画する
住民主役のまちづくり

第5次総合計画 3つの基本目標

みんな
未来を
拓くまち



- ・アクティブシニアアプローチ事業
- ・協働のまちづくりネットワーク
- ・自転車安全運転講習



令和元年度
「**第3次協働推進計画**」策定

住民との対話重視

・町の政策等の形成過程に様々な形での住民の積極的な参加を促進します。



- ・まちづくり懇話会・町長への手紙・メール 出前町長室
- ・町長のまち・ひと・しごと魅力発見！「事業所訪問」
- ・学校訪問・ワークショップ等

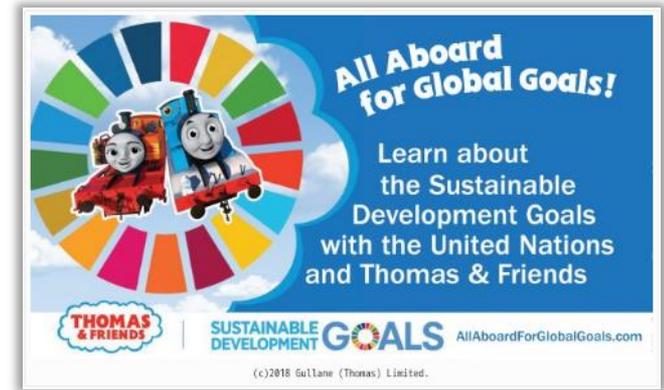
SDGsのまちづくり

- 国連が定めた2030年までに達成すべき17の目標SDGs（持続可能な開発目標）について、町独自の表彰制度「三芳SDGsアワード」創設に向け、町内の企業等と連携し、SDGsのまちづくりを進めます。



持続可能な開発目標（SDGs）

SDGsとは



2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標（その下に、169のターゲット、232の指標が決められている）。特徴は、以下の5つ。



普遍性 先進国を含め、全ての国が行動

包摂性 人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」

参画型 全てのステークホルダーが役割を

統合性 社会・経済・環境に統合的に取り組む

透明性 定期的にフォローアップ

よみ愛・読書のまち

～本を読みあう喜びを共有できるまちに～

毎月23日を「よみ愛読書の日」と定め、愛と夢と知性の輪を広げます。



年間図書貸出冊数

(人口1人当たり)

17年連続 県内第1位

(11.86 冊)

図書館では、児童サービス充実にか力を注いできました

ブックスタート（平成20年～）

4か月児健診の後で



図書館ぐりぐらタイム
6か月児～の部



ブックスタートプラス
（平成23年～）

2歳歯科健診の後で



図書館 来館おはなし会
保育所の子どもたちに



オリジナル絵本
英訳版作成



***朝読書(あさどく)**
小中学校全校で実施しています。

***読み聞かせ**
○小学校全校で、読み聞かせボランティアが活動しています。

○担任や学校司書、児童生徒（図書委員など）による、読み聞かせが行われています。

***学校司書 小中学校全校配置**
司書も自校でブックトーク

芸術文化のまちづくり

- ・ 住民が主人公となる芸術文化活動の推進
- ・ 学校や福祉施設等でのアウトリーチ活動充実

「芸術文化のまちづくり条例」の策定

芸術文化支援事業・ポータルサイトによる情報発信



マレーシアとの国際交流



マレーシアのペタリングジャヤ市と姉妹都市提携

- ・ 文化・芸術交流（みよしまつりへの来訪）
- ・ 中学生派遣
- ・ 教員相互交流

教育環境の充実



学校の耐震化(平成25年で完了)



ICT環境の整備



町内全小中学校普通教室に
エアコン設置



学校図書館の整備・充実

小中学校トイレ改修計画案

令和元年度

三芳小・
唐沢小

竹間沢小

藤久保小

上富小

各中学校

確かな学力、豊かな心、
健やかな体を育む学び舎
となるように、改修等を
計画的に行います。



中央公民館・学校給食センター複合施設



中央公民館

子育てスタジオ、音楽スタジオ
キッチンスタジオ等特色のある
設備を備えた施設です

学校給食センター

安全安心して食べられる、おい
しい給食の提供

第5次総合計画 基本目標

安心安全で

幸せに

暮らせるまち

待機児童のゼロを目指して

木質化でぬくもりの第3保育所



待機児童数 1名(H31.4.1現在)

子ども・子育て支援

子育て支援センターの充実



児童館活動の展開



多様な保育サービス



ファミリーサポート事業



よみ愛ブックLOVE



子育てサポート

- 出産育児一時金
- 児童手当
- こども医療費支給制度
- ひとり親家庭等医療費支給制度
- 児童扶養手当
- 延長保育
- 一時保育
- 病児・病後児保育事業

《母子保健事業の充実》 子育て世代包括支援センター

妊娠期から子育て期にわたり、相談や支援をワンストップで行う。

⇒平成31年4月から健康増進課へ移管。保健師等の専門職が専門知識を活かしながら、利用者の視点に立った妊娠・出産・子育てに関する支援のマネジメントを実施することで、包括的な子育て支援を目指します。

平成30年度

- ・不妊検査費助成事業

平成31年度（令和元年度）

- ・早期不妊治療費助成事業
- ・不育症検査費助成事業
- ・妊婦のための歯周疾患
予防検診
- ・新生児聴覚スクリーニング
検査費助成事業



手話言語条例制定

こころ豊かなまちづくりを実現することを目的とし

- 手話への理解の促進
- 手話の普及
- 手話を使いやすい環境の整備



あいサポート運動

- 障がいのある人に対してちょっとした手助けや配慮を実践する。誰もが暮らしやすい地域社会をみなさんと一緒につくっていく運動



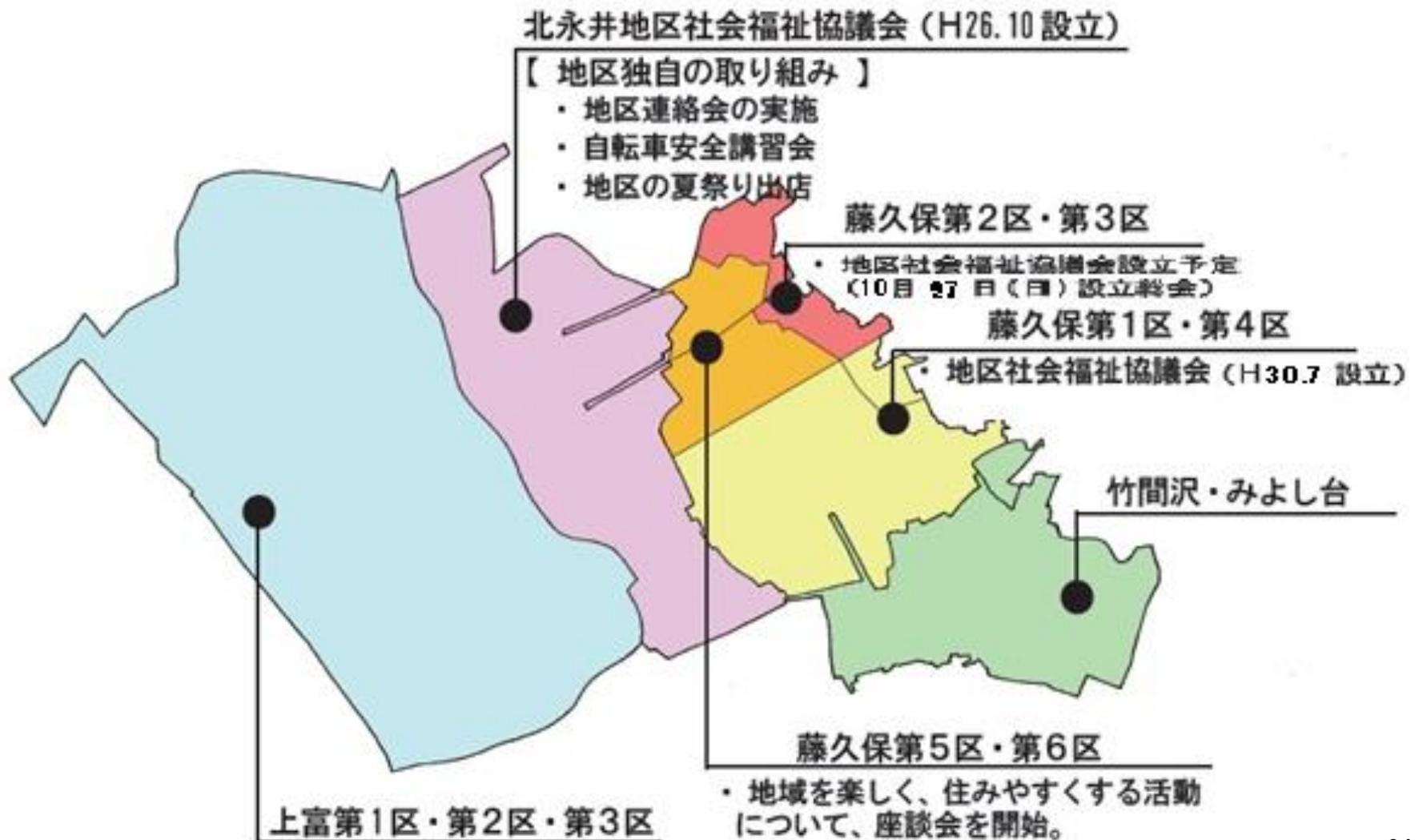
ささえあい・みよし（生活支援体制整備推進協議体）

「すすめよう！支え合いのまちづくり！」を目標に、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる仕組みづくりを、地域の皆さんと一緒に推進していきます。

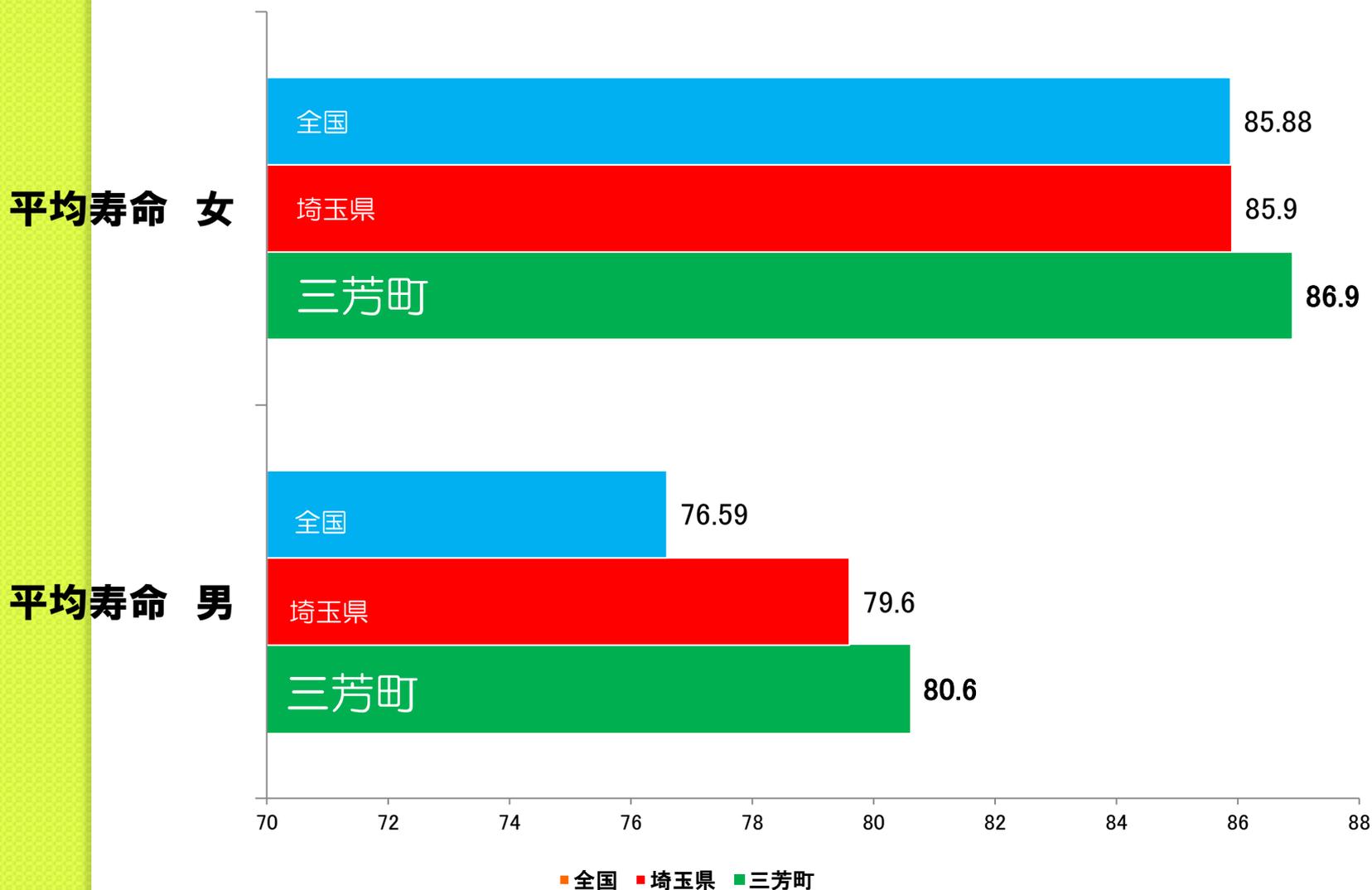


小地域福祉活動と地区社会福祉協議会の取り組み

～6つの地域で、住民同士のささえあい活動が始まっています～



健康長寿



※ 平均寿命 男性 県内 2 位 女性 県内 3 位

こんな症状、思いあたりませんか？

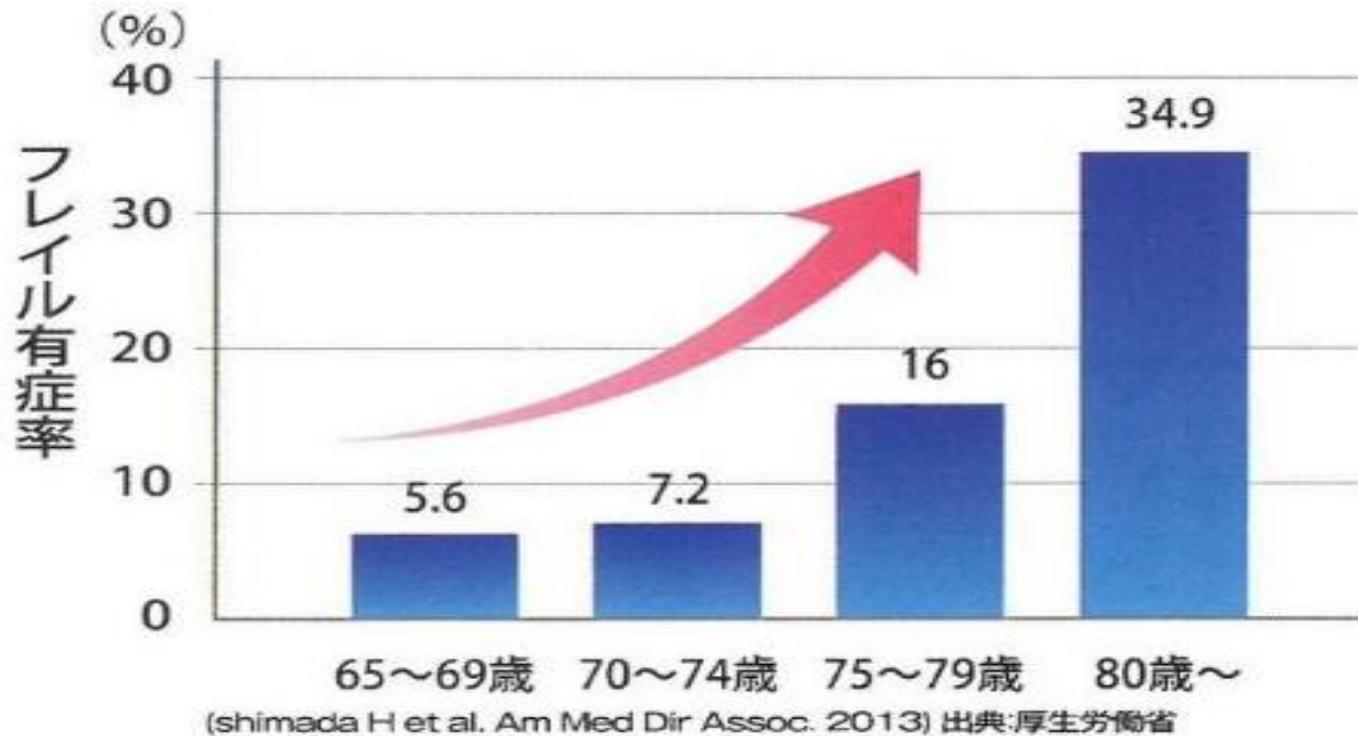
- 6 ヲ月で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少があった
- 今日が何月何日かわからない時がある
- 1 年以内に転んだことがある
- 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 昨年と比べて外出の回数が減っている

⇒ あてはまったら、フレイルに要注意

||

虚弱状態

フレイルを防いで健康寿命をのばそう！



フレイルの有症率は65～69歳では約17人に1人（5.6%）ですが、80歳以上では約3人に1人（34.9%）と大幅に増加します。今後三芳町で後期高齢者が増加すると、フレイル状態の人も増えていくことが予測されます。若いうちからフレイル予防に取り組みましょう。

フレイルを予防するための取り組み(一部抜粋)

○みよしいもっこ体操



みよしいもっこ体操

○65歳からはじめる
フレイル予防講座

○健康づくり教室

○健康づくり手帳
(介護予防手帳)



都市計画マスタープラン策定

「都市計画マスタープラン」って何？

安心・安全で快適に暮らせる住みよいまちを実現するための
まちづくりの設計図です

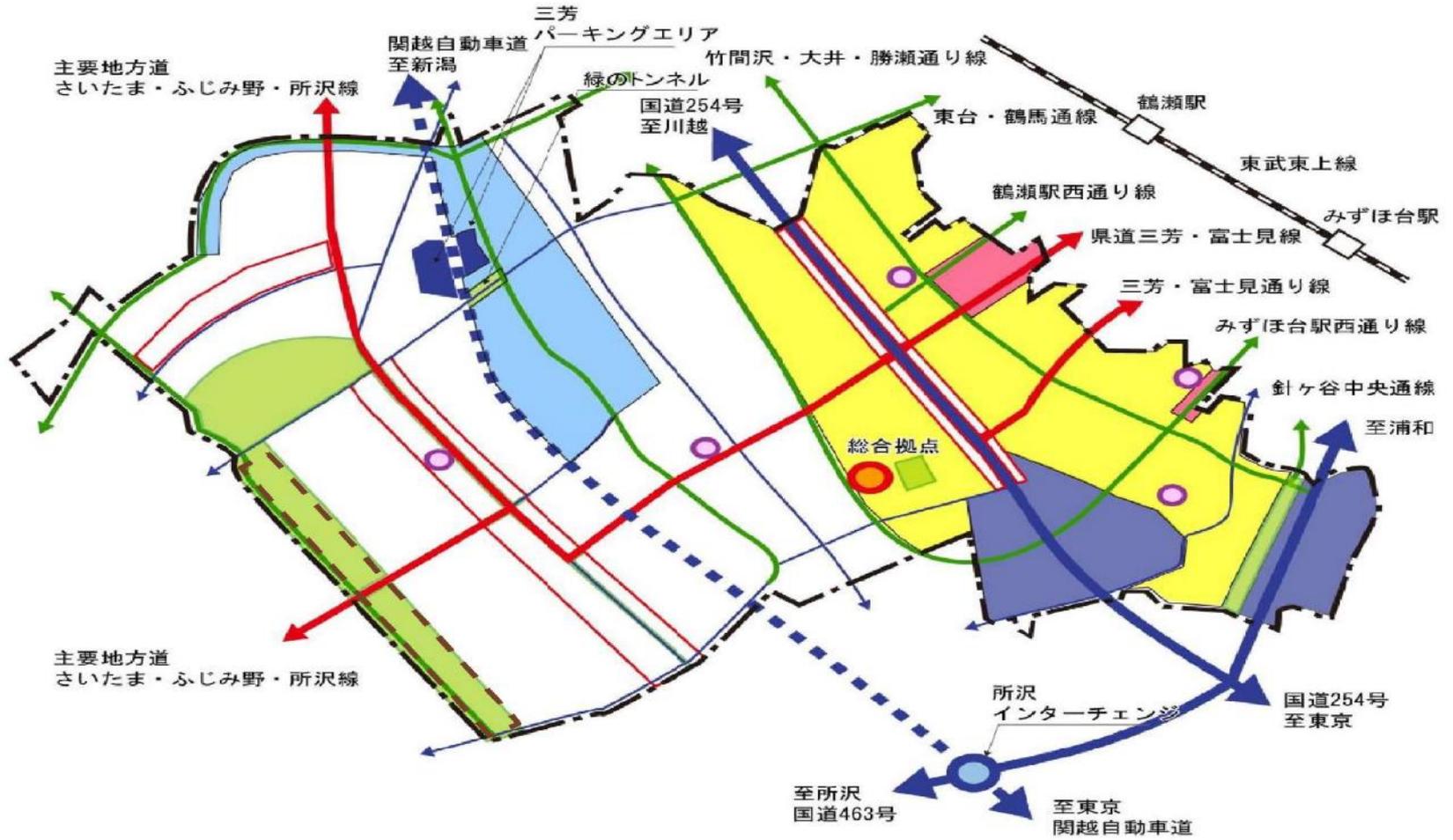
「都市計画マスタープラン」で何を決めるの？

具体的には・・・

- ・ 土地利用に関すること
（市街化区域、市街化調整区域、用途地域など）
- ・ 都市施設に関すること（道路、公園、下水道など）
- ・ 市街地開発（土地区画整理、再開発など）

基準年次 2020年 ⇒ 目標年次 2040年

現在のマスタープラン



凡 例

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
|  | 住宅系 |  | 総合拠点 |
|  | 農業系 |  | 地域拠点 |
|  | 商業系 |  | 広域幹線道路 |
|  | 工業 |  | 都市幹線道路 |
|  | みどり共生産業ゾーン |  | 地域幹線道路 |
|  | 自然環境保全ゾーン |  | 主要生活道路 (略図) |
|  | 景観形成ゾーン |  | 町道幹線1号線沿道 |

安心安全の都市基盤整備

・ 3つの区画整理事業の完成へ



三芳町の公園へ

区画整理事業により多くの公園が整備されています。



三芳町自然の森・総合スポーツ公園整備構想

— 町制50周年記念事業 —



総合運動公園及び緑地公園、多目的広場やレクリエーション公園を一体的に整備し、町民の憩いの場として魅力ある公園づくりを計画しています。

魅力ある公園へ



スマートICフル化整備



- H18. 10 三芳スマートIC恒久設置
- H26. 2 スマートICフル化住民アンケート調査実施
→「要件が整えば」を含め、約8割の住民が
「実現したほうがよい」と回答
- H27. 6 フル化事業化決定
地区協議会・安全対策等調整会議の開催
周辺道路の改良等、安全対策の充実を図った上で、
2021年度（令和3年度）以降の供用開始を目指します

周辺道路整備



③ 幹線14号線歩道整備



① セントラル病院前交差点

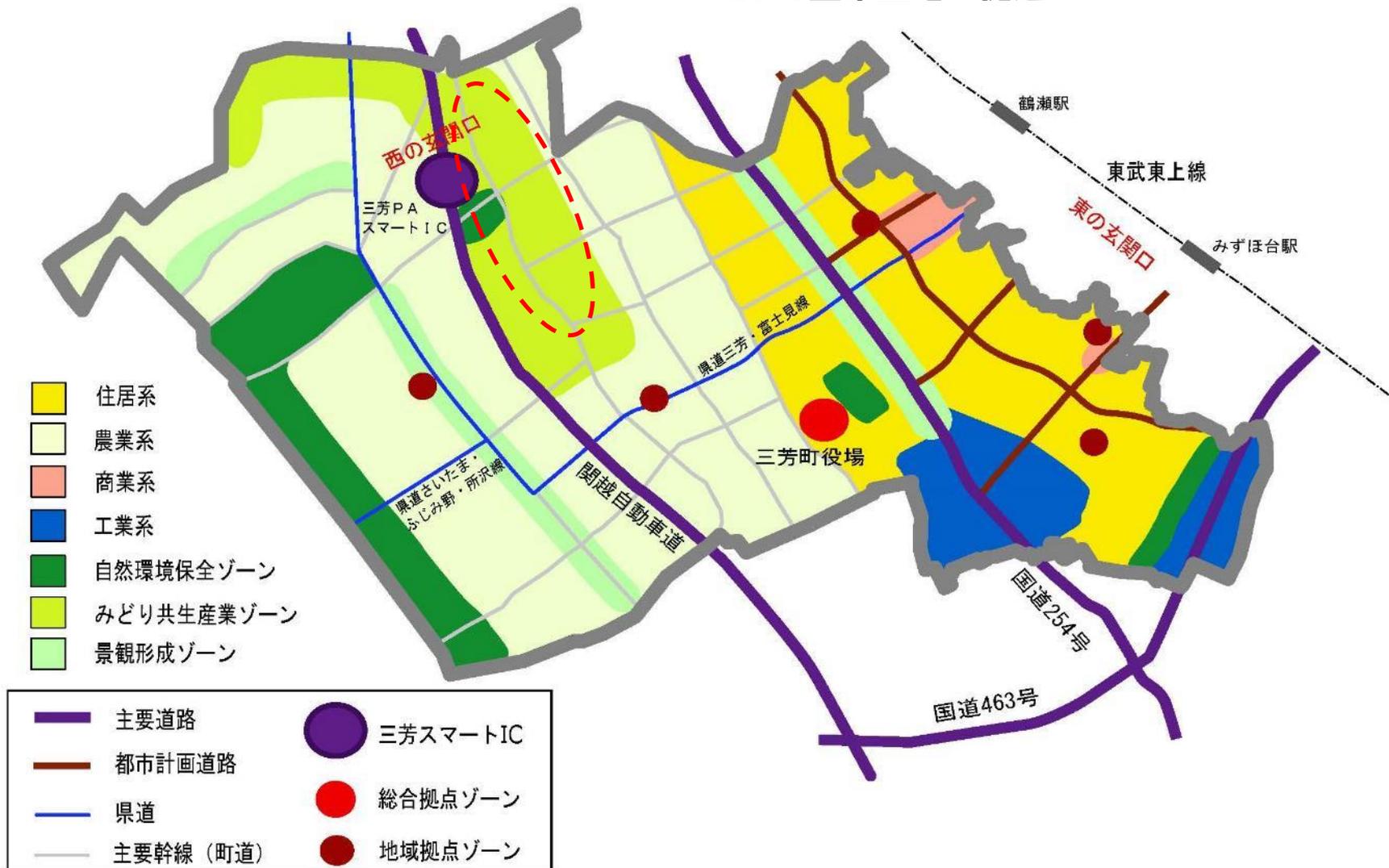


② 三芳中学校前交差点

企業誘致・留置

町道幹線3号線沿道「みどり共生産業ゾーン」

スマートICに近い町道幹線3号線沿線を促進する
エリアとした企業立地の促進



企業誘致活動の成果

町の企業誘致活動により、上富地区へ誘致第1号が進出。現在のところ第4号まで決定している。

第1号（上富 約14,000㎡） 第2号（北永井 約10,000㎡）
第3号（北永井 約1,500㎡） 第4号（上富 約5,000㎡）
⇒固定資産税の収入増 **約6,000万円**（見込み）

地域連携避難訓練

第1回	参加者数	1,026名
第2回	参加者数	1,410名
第3回	参加者数	1,445名
第4回	参加者数	1,360名
第5回	参加者数	1,200名



防災フェア(令和元年新規事業)

疑似災害を体験でき、幅広い年齢層が防災について、楽しみながら理解できる取り組みを実施します。

開催予定日：

10月19日(土)



脱財政硬直化宣言 効果額 約4億8,000万円

平成25年度～平成26年度

町有財産の処分/人件費の見直し/老朽施設の廃止等/
受益者負担の原則の徹底/職員の定員管理等

第5次行政改革 効果額 約10億3,000万円

平成27年度～平成29年度

広告収入/ふるさと納税/使用料確保/人件費等の適正
な執行等/職員の定員適正化/報酬、報償等の見直し/
繰出金の縮減等/健全財政の推進等

第6次行政改革

平成30年度～令和2年度

企業誘致・留置/健全財政の推進/繰出金の縮減等/
民間活力の導入/働き方改革等

第5次総合計画 基本目標

緑と活力に

あふれた

魅力あるまち

広報みよし

全国広報コンクール

これまでの受賞

一枚写真部門	内閣総理大臣賞
組み写真部門	入選
映像部門	入選
広報企画部門	入選
広報紙部門	入選

埼玉県広報コンクール

これまでの受賞

広報紙部門	特選
一枚写真部門	特選
組み写真部門	特選

テレビ

- NHK 首都圏ネットワーク
おはよう日本
- 日本テレビ NEWS ZERO
news every.
- フジテレビ ホウドウキョク



ふるさとと納税寄附額

約 2 億 3 千万円 (平成30年度)

約 2 億 1 千万円 (平成29年度)

約 1 億 3 千万円 (平成28年度)

約 4 百万円 (平成27年度)



ふるさとと納税の流れ

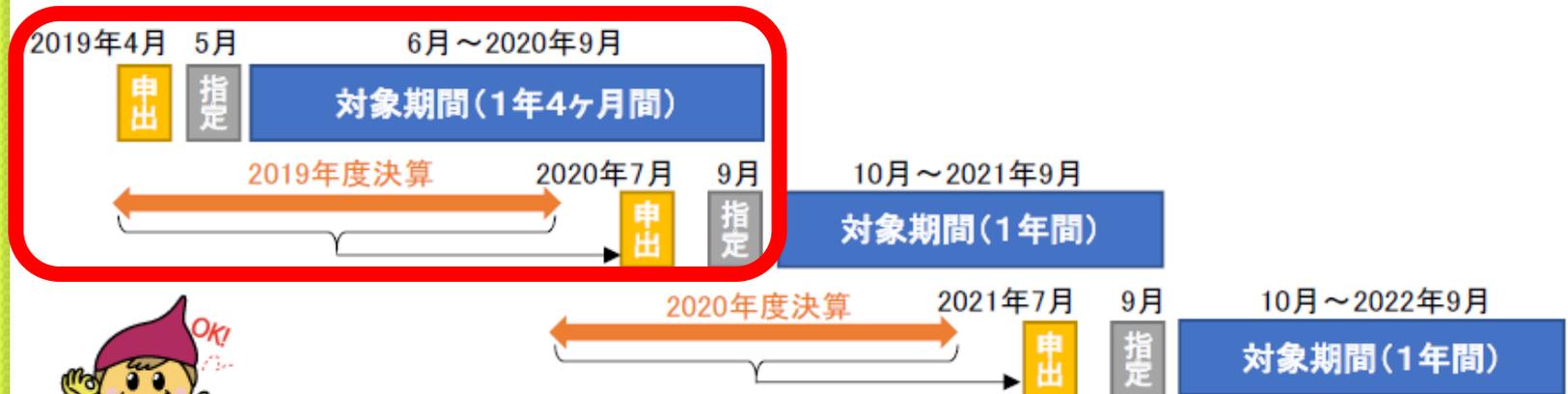
- ①寄附の申し込みをする
お申し込みは、楽天市場・ふるさとチョイスのふるさとと納税ページにて受付することができます。こちらではインターネット上でのやりとりのみでお申し込みができます。また、申込書を記載し、郵送・FAX・メール・直接持参でも受け付けております。
- ②支払いをする
クレジットカード(インターネットのみ)、銀行振込等、7種類の支払い方法があります。(ふるさとチョイスではコンビニ支払い等も選ぶことができます。)
- ③謝礼品と寄附証明書を受け取る
謝礼品と証明書は別々に届きます。証明書は、確定申告に使用しますので、大切に保管してください。
- ④税金控除を行う
ワンストップ特例を利用して、翌年1月10日までに申請書をお送りいただくか、翌年3月15日までに、お住まいの地域の税務署に確定申告を行ってください。

今後のふるさと納税

平成31年4月 地方税法改正

ふるさと納税を実施する際のルールが大きく3つ定められる

- ①ふるさと納税の**募集を適正に行う**こと
- ②返礼品は**返礼割合を3割以下**とすること
- ③返礼品は**地場産品**とすること



今後も地場産品のプロモーション・

地域経済の活性化のために取り組んでまいります

日本農業遺産

日本において将来に受け継がれるべき伝統的な農林水産業システムを広く発掘し、その価値を評価するため、農林水産省で認定。

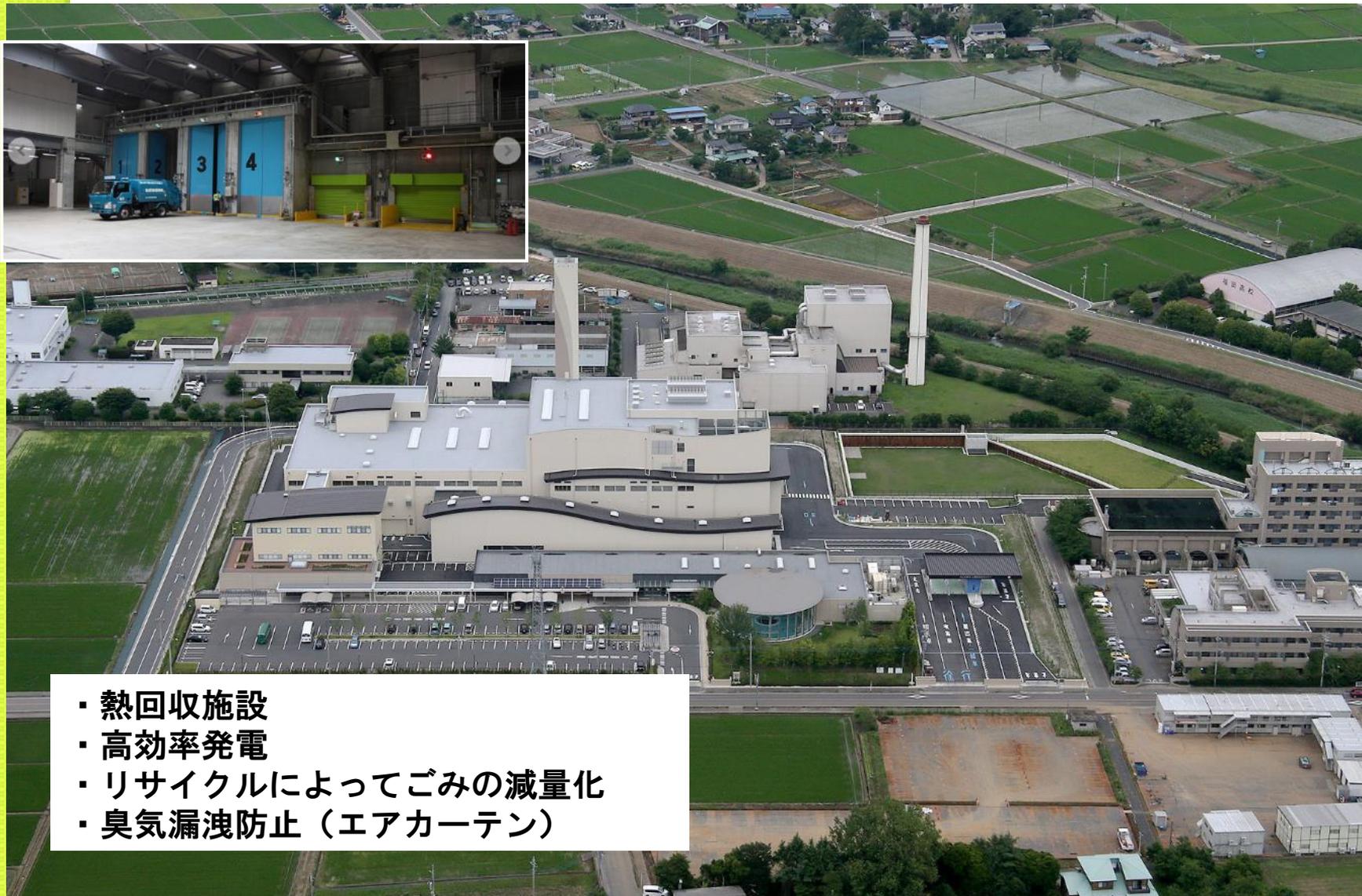
世界農業遺産

社会や環境に適応しながら何世代にもわたり形づくられてきた伝統的な農林水産業と、それに関わって育まれた文化、ランドスケープ、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農林水産業システムを国連食糧農業機関（FAO）が認定する仕組み



環境クリーンセンター

・ごみ減量化と円滑なごみ収集



- ・ 熱回収施設
- ・ 高効率発電
- ・ リサイクルによってごみの減量化
- ・ 臭気漏洩防止（エアカーテン）

余熱利用施設「エコパ」

「ふれあい・交流・健康増進」

- ・大広間・多目的スペース
- ・健康相談室
- ・健康増進バーデプール
- ・浴室

令和元年6月8日



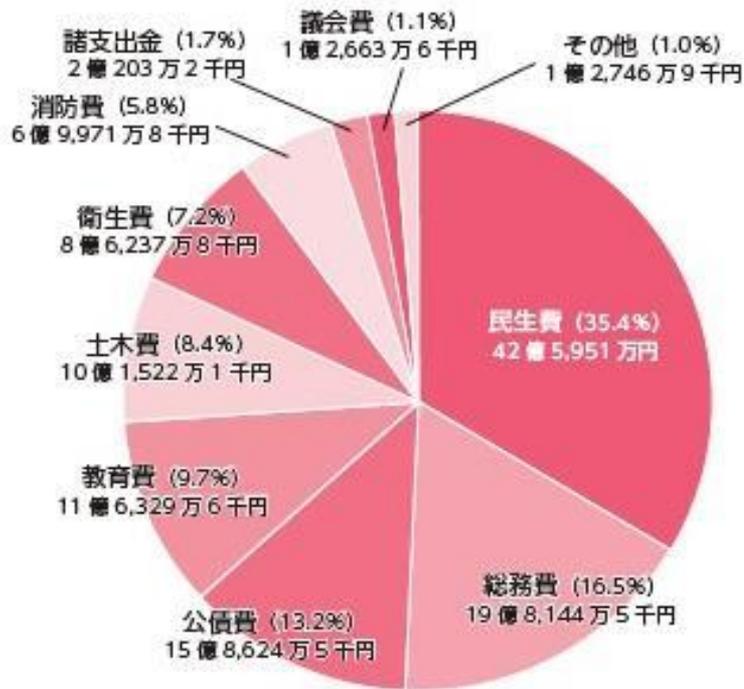
入館者100万人達成!!



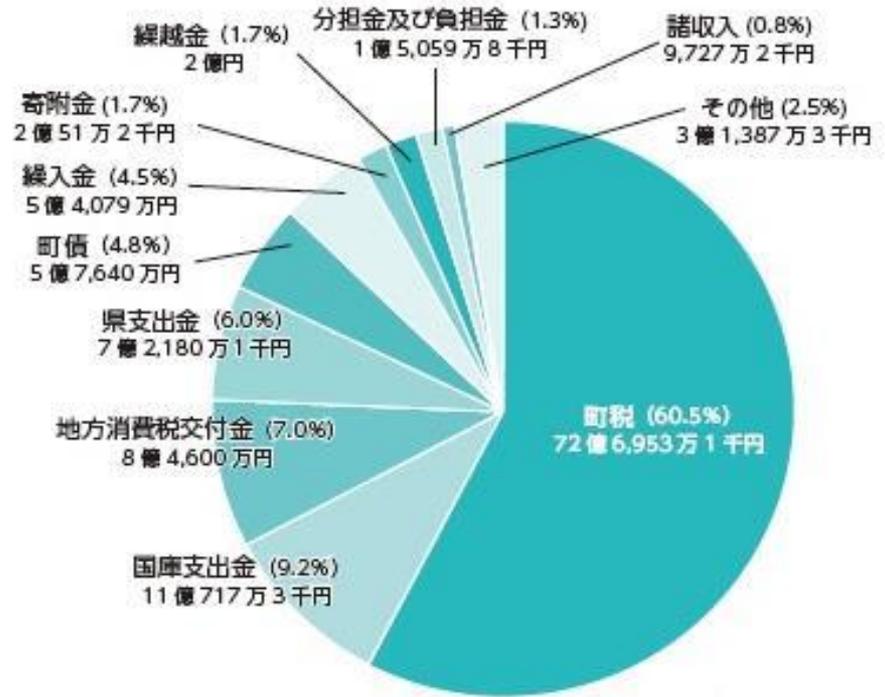
令和元年度事業について

令和元年度予算概要

一般会計の歳出



一般会計の歳入



令和元年度三芳町一般会計予算額

120億2,395万円

厳しい財政状況の中、限られた財源を活かし行政サービスを推進



証明書コンビニ交付サービス

証明書コンビニ交付サービス実施

2,663千円

個人番号カード（マイナンバーカード）を利用して、住民票の写しや印鑑登録証明書が、全国のコンビニエンスストア等で取得できるようになります。

8月から



お昼休みや夜間、さらに休日でも、ご自分のお時間にあわせて取得できます。



全国のコンビニエンスストア等で取得できます。



“移動”の負担を軽減

公共交通補助

9,600千円

高齢者運転免許証自主返納支援制度

平成29年4月1日以降に免許を自主返納した75歳以上の方。

上限額 10,000円

- ・ ライフバス回数券・タクシー利用・交通系ICカードなど

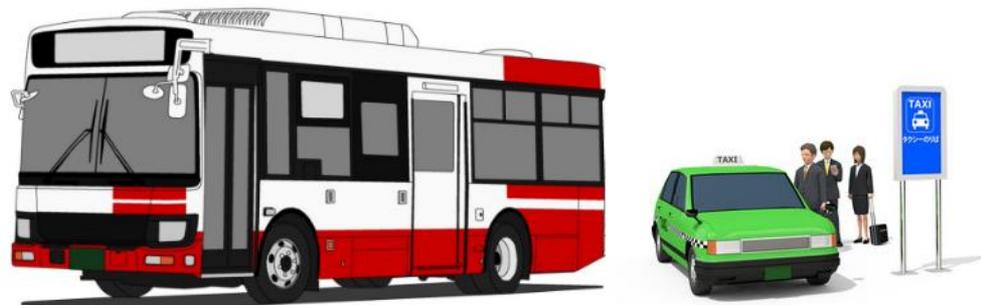
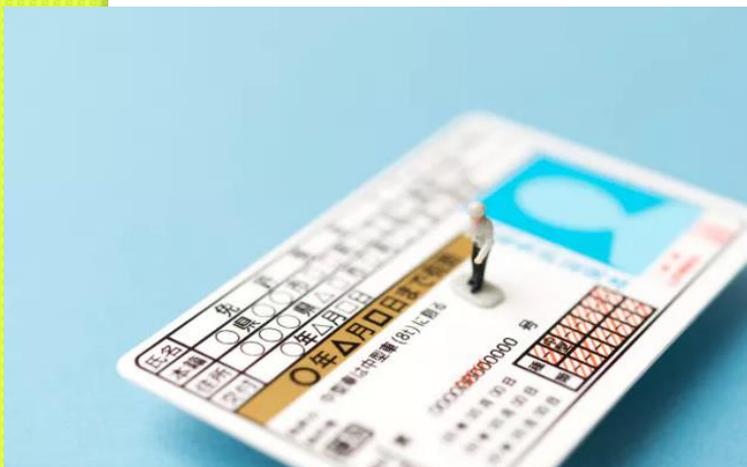
公共交通補助事業

75歳以上の在住者

(福祉タクシー・福祉バス事業等受給者は対象外)

上限額 6,000円

- ・ ライフバス回数券 (購入費用の半額補助)
- ・ タクシー利用 (領収書1枚につき500円)





今後の町内の公共交通

(仮)元気！おでかけ応援事業



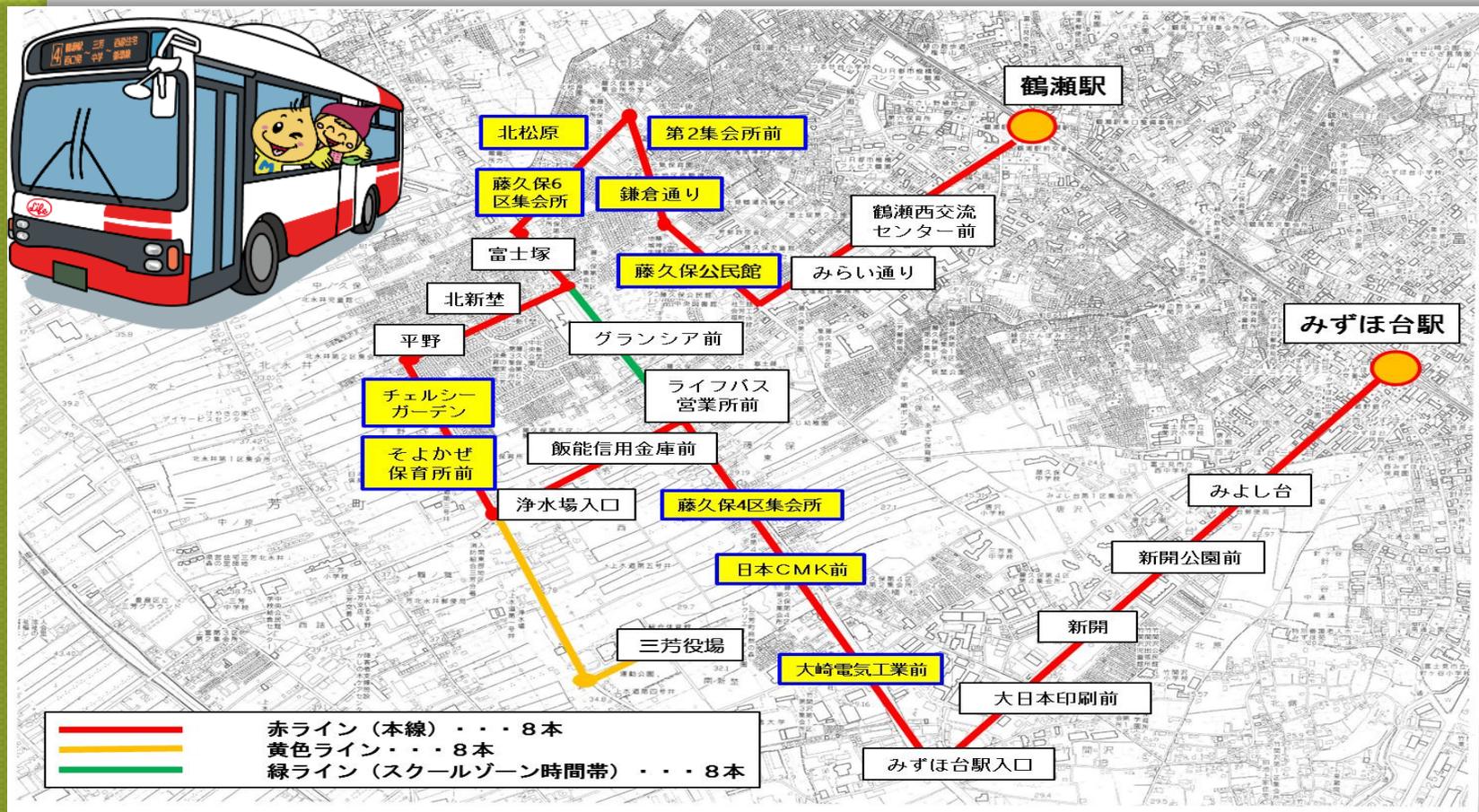
現在の公共交通補助事業を深化させ
高齢者、妊婦等を対象に、タクシー、バスの町内の利用をサポート
します。



今後の町内の公共交通

ライフバス路線の再編

28,211千円



藤久保の住宅地を經由して、鶴瀬駅とみずほ台駅をつなぐルートが新たに運行します。時間帯により3ルートの運行を予定しています。



藤久保地域拠点基本計画

藤久保地域拠点基本計画策定

10,542千円



藤久保地域拠点施設について、官民連携のもと公共サービス・適正規模・複合化などを検討した上で、基本計画の策定を実施します。



東京オリンピック・パラリンピック関連事業

ホストタウン交流事業・事前キャンプ推進事業

3,024千円



オランダとのホストタウン交流をはじめとした、東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とした事業を推進します。

特報!

オリンピック**聖火**リレー



1人あたりの走行距離は約200m、
走行時間は約2分間とされています。

2020年7月7日(火)

三芳町内に聖火がやってきます!

埼玉県内通過予定
7/7~7/9

7/7(火)

川口市



蕨市・戸田市



和光市・朝霞市・
新座市



日高市



狭山市



富士見市・**三芳町**・
ふじみ野市



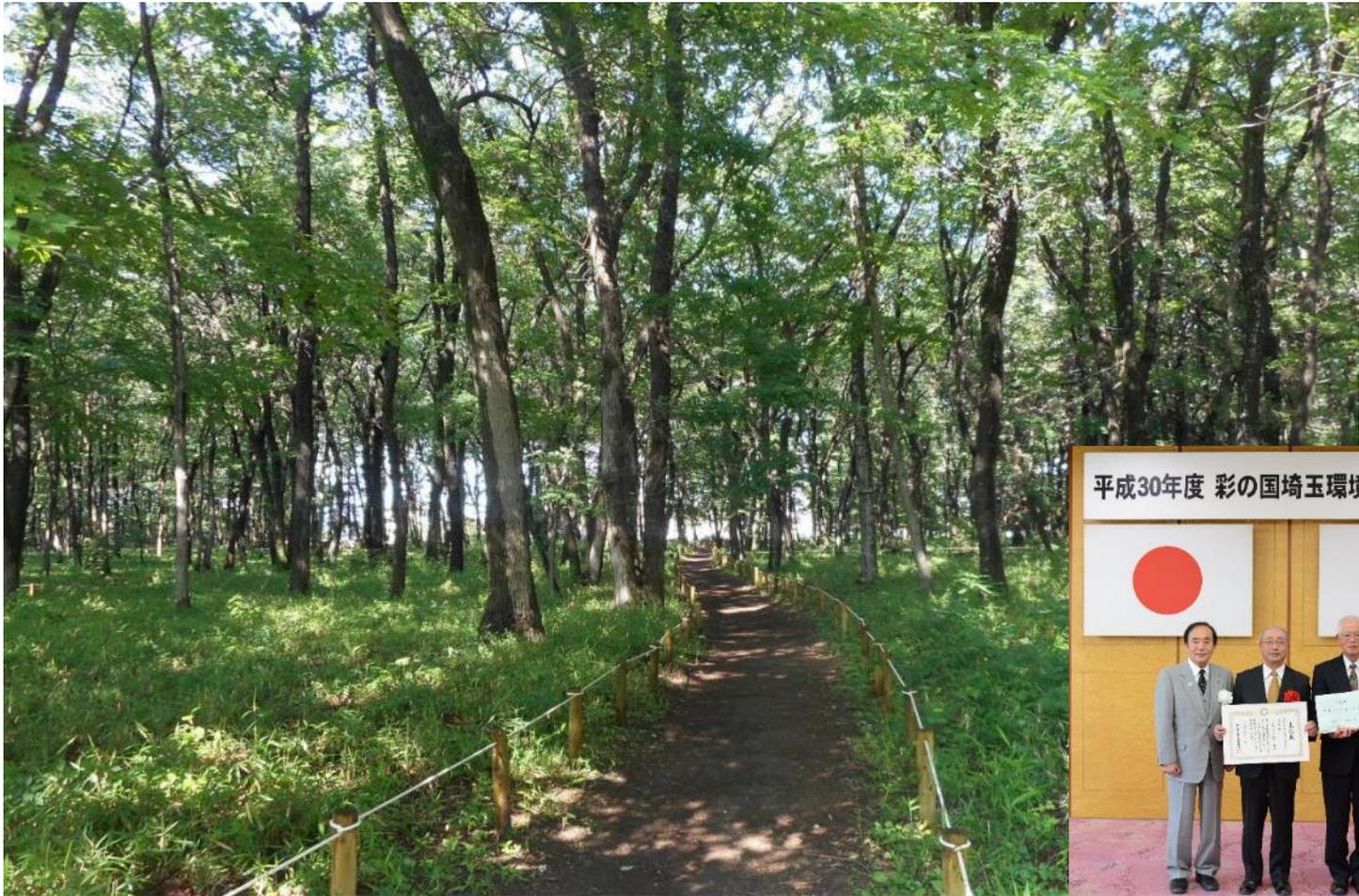
所沢市

(レブレーション開催)



平地林萌芽更新事業

身近なみどり市町村支援事業補助金（県費補助金 補助額 1 / 2）



平成30年度彩の国環境大賞を受賞したグリーンサポート隊の活動や、平地林萌芽更新事業により、里山景観を再生します。



みよしmachi JAM

町の中で活動しているさまざまな団体と町長が、膝をつき合わせて暮らしの中の身近なテーマについて語り合います。

町制施行50周年を迎える三芳町の未来を考えるヒントが隠されているかもしれません。



広報7月号に参加団体募集の詳細を掲載しますので、ぜひご応募ください！
(なお、本日お声掛けいただければ、後日ご連絡差し上げます)



三芳生誕130周年記念イベント



明治22年（1898年）に上富村・北永井村・藤久保村・竹間沢村の4つの村が合併し「**三芳村**」が誕生しました。今年、生誕130年を迎えるにあたり、4月1日には記念イベントを役場グラウンド前で開催しました。「藤久保中学校とみらいくんによる生演奏」「オランダのホストタウンとして国花であるチューリップの苗のプレゼント」「手形で桜を咲かせよう」などを実施しました。最後は来場者で集合写真を撮影し、記念イベントに花を添えました。



町制施行50周年(令和2年 2020年)



昭和45年(1970年)11月3日、三芳は町制を施行し、「**三芳町**」が誕生しました。町制施行時の人口は14,476人、中学校1校・小学校2校と決して大きくはありませんでしたが、村から町へと新たな躍進を願い大空へ羽ばたき始めました。

令和2年(2020年)は町制施行50周年にあたります。町ではこの記念の年にさまざまな記念事業を準備しています。多くの町民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

魅力あふれ活力ある町の創造

住んでよかった

愛するふるさと三芳町

